

## ポイント（６）学校評議員の学校評価への関わり

学校評議員に評価結果を示して意見を得る。

評価結果をもとに、学校運営や教育活動の改善に生かす意見を教職員以外から積極的に求めようとする場合、学校評議員の役割は重要です。

全国の実践例を分析すると、学校評価における学校評議員の役割は、次の三つのタイプに分類することができます。

### 学校評価における学校評議員の役割

|               |                                |
|---------------|--------------------------------|
| （ア）評価の企画に参画   | 評価項目の設定や基準・方法などに関わる。           |
| （イ）評価に参画      | 教職員以外の外部の評価者として関わる。            |
| （ウ）評価結果の分析に参画 | 評価結果に基づいて課題の指摘や学校運営の改善意見を提供する。 |

## ➡ 【ポイント(6)の事例】

以下の事例のように、積極的に評価結果を公表することが学校に対する信頼を高めることになり、学校評議員の意見を生かして改善を図ることにつながります。

〔事例(6) - 1〕学校評価システムの構築を促す意見を得ている。

学校評議員に対して、教職員による評価の結果を示したところ、生徒、保護者による評価も早急に導入する必要があるのではないかという提言があった。この提言を受けて、校内で検討中であった教職員以外による評価を、すみやかに導入することとなった。

〔事例(6) - 2〕学校評価システムの構築により、学校に対する信頼が高まるとともに、具体的な改善意見も得やすくなっている。

学校評議員に対して、学校評価の結果を示したところ、「企業ではほとんど実施しているが、学校でもこのような取り組みを積極的に行っていることは驚きだ。」といった高い評価を得た。学校が取り組もうとしている方向性が明らかになり、具体的な意見を得やすくなった。